

より衛星に“やさしい”ロケットに改良された H-IIAロケット29号機により初の商業衛星の打ち上げに成功！



① H-II Aロケット29号機の打ち上げ（2015年11月24日15時50分）

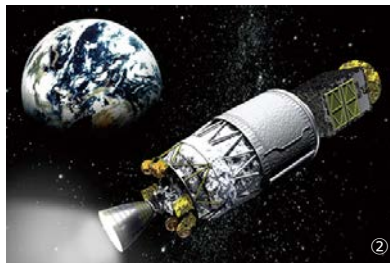
今回の成功は日本が悲願としてきた衛星打ち上げの世界市場への参入に向け大きな弾みに

11月24日(火)15時50分00秒、種子島宇宙センター(鹿児島県)から日本のロケットとして初めて海外の商業衛星を搭載したH-IIAロケット29号機が打ち上げられました。約4時間27分後の20時17分頃、カナダの通信放送衛星 Telstar12 VANTAGE を正常に分離した事が確認され、打ち上げは無事成功しました。

この29号機には、これまで衛星側に負担をかけていた打ち上げ後の予定軌道(赤道上空約36,000kmの静止衛星軌道)への遷移を、ロケット側がもっと手助けする基幹ロケット高度化技術が適用されています。

今回の成功により、日本が悲願としてきた衛星打ち上げ市場の参入に大きな弾みがつくことが期待されています。

静止衛星打ち上げ対応能力の向上
～H-IIAロケット29号機への適用～



「基幹ロケット高度化」はH-IIAロケットの打ち上げ性能を向上させ、国際競争力を強化し、地上設備を簡素化することにより効率的なロケット運用をめざす取り組みです。

これまでは、第2段エンジンの2回目の噴射で、200km～36,000kmの長楕円軌道に入れ、その後人工衛星のエンジンで36,000kmの静止軌道に移っていましたが、今回の改良で衛星を静止軌道より近い軌道に投入することが可能となり、衛星側の負担を減らせるようになりました。これにより衛星の燃料が節約でき、その重量分を観測センサの大型化に充てたり、衛星での軌道上における運用期間を長寿命化につなげたりすることが期待されます。



約4時間の長時間慣性飛行(ロングコースト)を経てH-IIAロケット29号機の第2段ロケットから分離されるカナダの通信衛星 Telstar 12 VANTAGE

さらに詳しく知りたい方はコチラ



ファン！ファン！JAXA 基幹ロケット高度化／H-IIAロケット29号機特設サイト
http://fanfun.jaxa.jp/countdown/f29/f29_live.html
「基幹ロケット高度化」の詳細はここでチェック！
打ち上げダイジェスト映像も絶賛公開中です！

Spacei 宇宙かわら版 2015年11月25日号

※「Spacei」はJAXAとJSFの共同事業です

問い合わせ先：Spacei事務局（一般財団法人日本宇宙フォーラム）

ホームページ：<http://www.spaceinfo.jp/> お問い合わせ：<https://www.science-event.jp/event/spacei/contact/>

※特に断りのない限り日付は日本時間です。画像の出典：①～③JAXA

Spacei